

- 白河市では、森林に対する関心の低下や、森林所有者の高齢化、相続による世代交代などから手入れの行き届かない森林が増加しており、これに起因する災害の発生防止や、森林の有する多面的機能の維持が課題となっている。
- このため、公共性の高い周辺環境に影響を及ぼしている森林の整備や、自主的に里山整備活動を行う緑化団体に対し、森林整備費用の助成を行った。

□ 事業内容

①森林整備事業

主要幹線道路沿など公共性の高い場所に影響を及ぼしている森林の整備を行い、通行の安全性を確保した。

【事業費】 7, 498千円（うち譲与税7, 498千円）

【実績】 森林整備 0.91ha

②里山整備補助金事業

自主的に里山の整備を行い、森林の有する多面的機能の維持などを目的とした活動を行う緑化団体に対して、森林整備費用の助成を行った。

【事業費】 1, 275千円（うち譲与税1, 275千円）

（補助率：1団体あたり定額50万円まで）

【実績】 市内緑化団体 3団体に助成

□ 取組の背景

- ①森林による日陰の影響で、冬季には道路が凍結し、危険な状況となるため通行に支障を来している。
- ②森林の管理不足により災害リスクが増大する中、地域の安全確保と森林の多面的機能を目的として、里山整備の支援を推進する。



（森林整備前）



（森林整備後）

□ 工夫・留意した点

- ・①については、森林により影響を受けている道路などを調査・抽出し、緊急性や重要性を踏まえて、整備地区の選定を行った。
- ・②については、補助金活用の更なる促進を図るため、緑化団体に対し勧奨通知と共に里山補助金交付要綱や申請関係等様式を送付し、制度の周知を行った。

□ 取組の効果

- ・①については、森林整備により周辺環境が改善され、特に冬季の道路凍結防止につながり、通行の安全性が向上した。
- ・②については、里山整備を行う緑化団体を支援することにより、森林整備による周辺の環境保全が進み、また、遊歩道整備により観光資源の価値が高まっている。さらに、小学生を対象とした植林体験などが行われ、環境教育の機会や子どもたちが自然との共生について学ぶ場が提供されている。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：44,063千円		②私有林人工林面積（※1）：4,474.67ha	
③林野率（※1）：56.6%	④人口（※2）：61,913人	⑤林業就業者数（※2）：74人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より